

地圖目次

- 一 太古日本民族構成人種本源圖
- 二 バビロニア都市圖
- 三 太古天孫人種系氏族分布圖

目次終

第一圖



SHAMASH, THE SUN-GOD, IN HIS SHRINE AT SIPPAR

日像の鏡 紀元前八世紀バビロン王ナブパラチンが、シツパル市のシャマシユ神宮へ奉納の額、祠内に座し給ふは日神シャマシユ、其の前に在るは日像の鏡、其の上に在るは神紋、其の下は楔形文字、ロンドン博物館所蔵、モリス・デアストロー著、バビロニア及アツシリア文明論所載、

第 二 圖



FIG. 1, MARDUK, THE CHIEF DEITY OF BABYLON

(一) バビロンの神の王、日神マルツークと鏡(紀元前約六百年)
(二) アツダト神たる暴風雨神、軍神、其の兩手に持つは電光形の剣、腰に掛けたるは鏡、

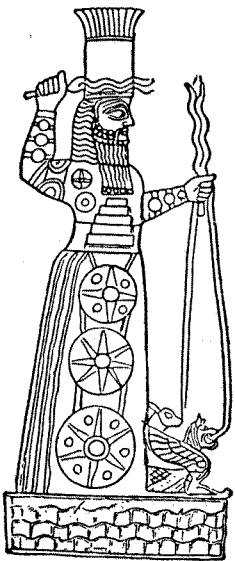


FIG. 2, ADAD, THE GOD OF STORMS

第 三 圖

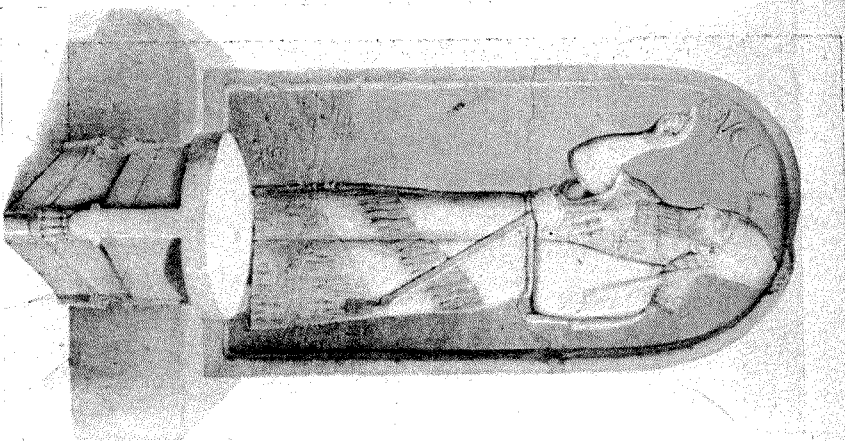


FIG. 1, KING ASHURNASIRPAL III OF ASSYRIA (883-859 B.C.)

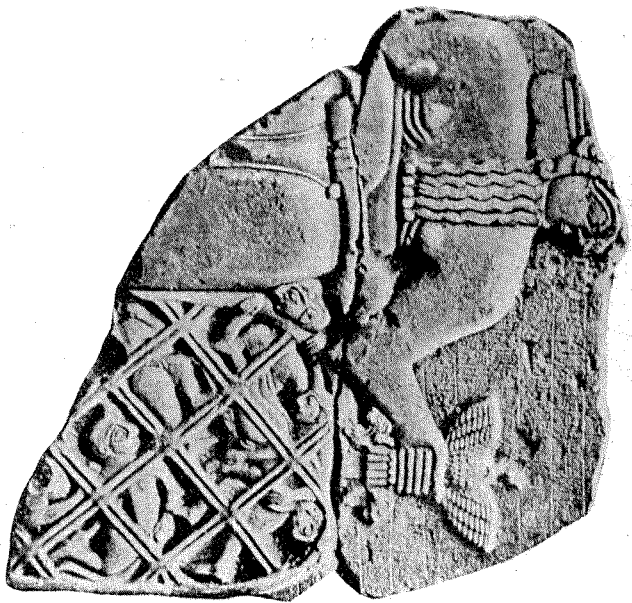
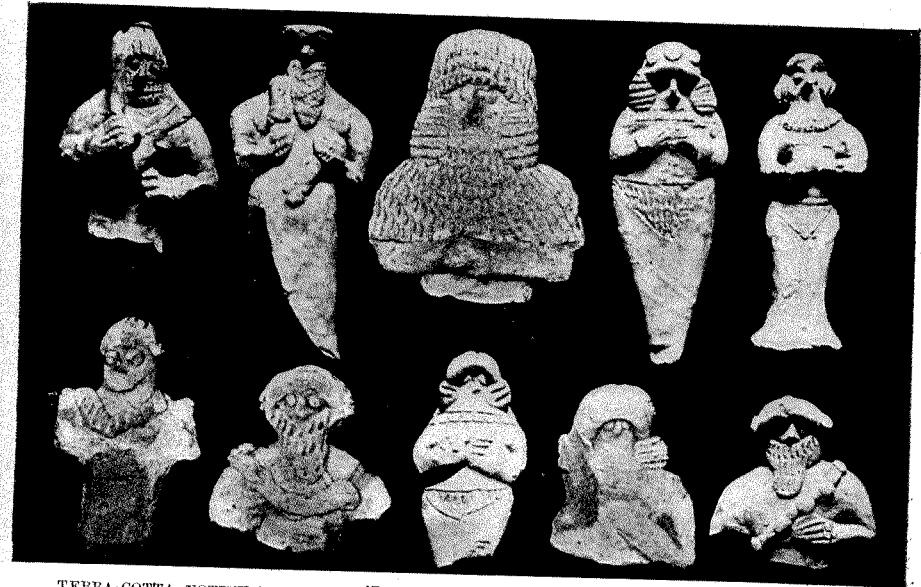


FIG. 2, THE GOD NINGISH, CAPTURING THE ENEMIES OF LAGASH IN HIS NET

(一) 鷹の神 スメリアのラガシ市の主神日神ニシギルス神が左手に神使鷹を、
右手に撻矛を持ち賜ふ圖。
(二) アツシリアのアツスリナジル王の佩く剣は頭銃剣に酷似す、其の胸に
アルテス十字架を掛く。

圖 四 第



TERRA-COTTA VOTIVE IMAGES OF THE GOD ENLIL AND OF HIS CONSORT NINLIL (NIPPUR)

(一) スメリアのニッブル市のエンリル(地神)の神像と新月形の頸飾及装飾品

(二) ラガシ王某の石像と頸飾

(三) 神像と頸飾



三



二

圖 五 第

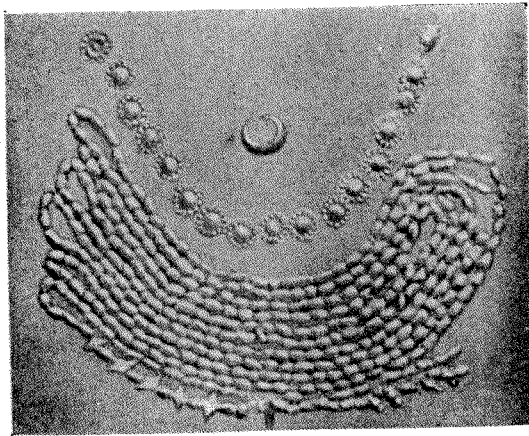


Abb. 150. Perlketten u. Kornfiligranarbeiten.
(Koldewey, Das wiedererstehende Babylon,
Abb. 186.)

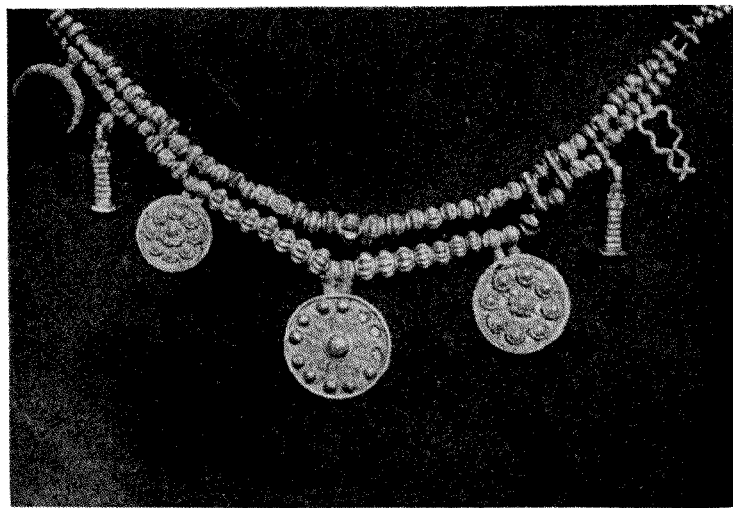
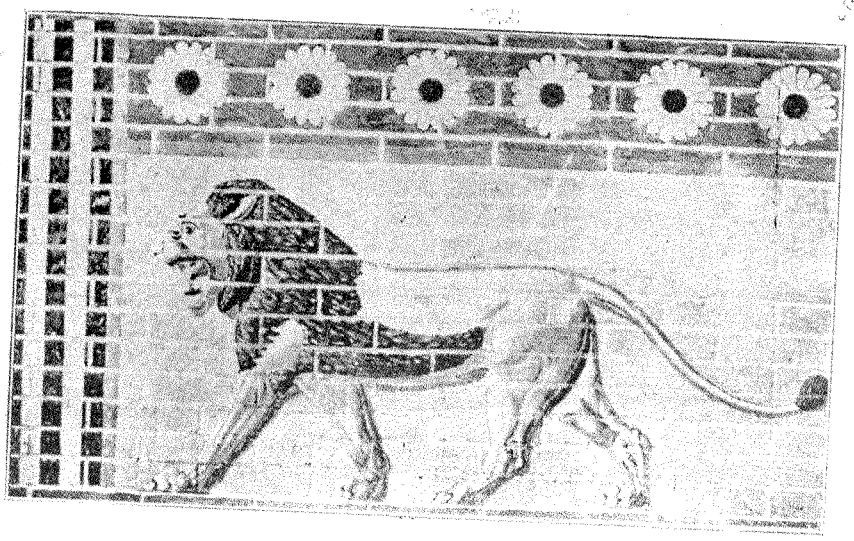
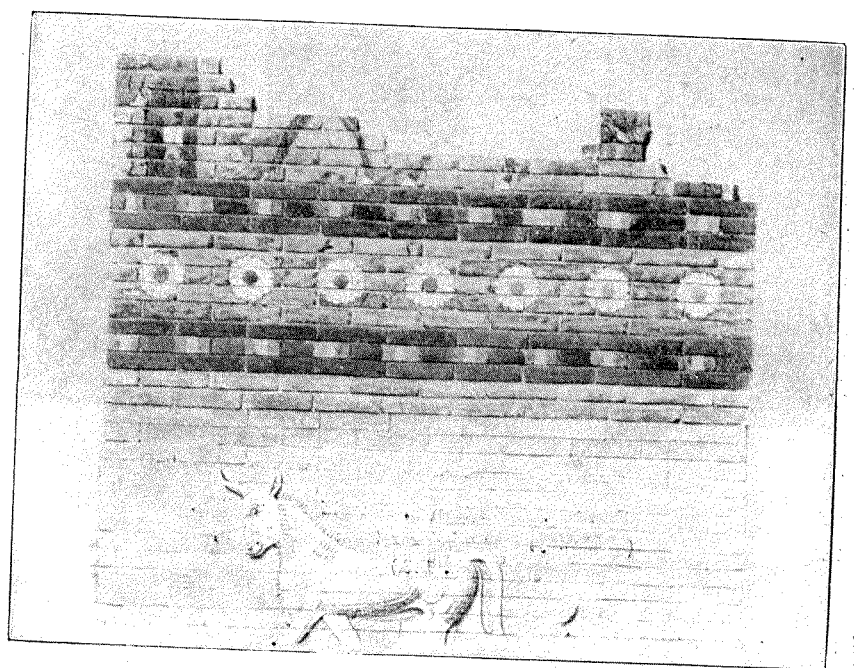


Abb. 147. Babylon'scher Goldschmuck.
(Phot. nach dem Frau Dr. Hahn gehörenden Oriinal.)

二

(一) バビロン出土の玉製頸飾、所謂八坂瓊の五百箇御須麻流であらう。
(二) 同上出土の黄金製頸飾、共にブルーノ・マイスナー著、バビロニア及アッシリア論所載。

(一) アッカド市イスタル神宮門の残壁と菊花紋、紀元前六百年新バビロニア國ネブカドネザル王が釉薬色煉瓦を材料として建築せるもの、
 (二) 同七世紀に築かれたバビロン行列道路の煉瓦壁の菊花紋



第六圖

第七圖

(一) シッペル市發見の紀念碑、胸邊及手頭の菊花紋及び神紋
 (二) アッシリア發見の紀元前八世紀ころの作金屬打出製盆の菊花紋

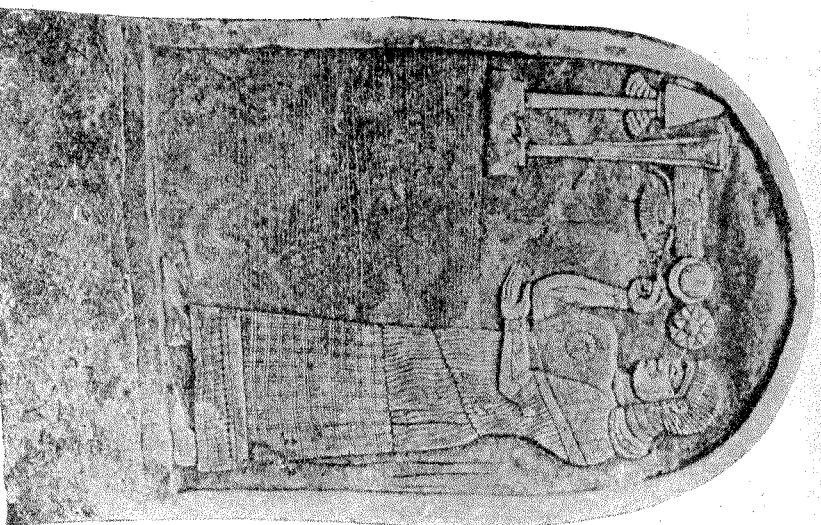
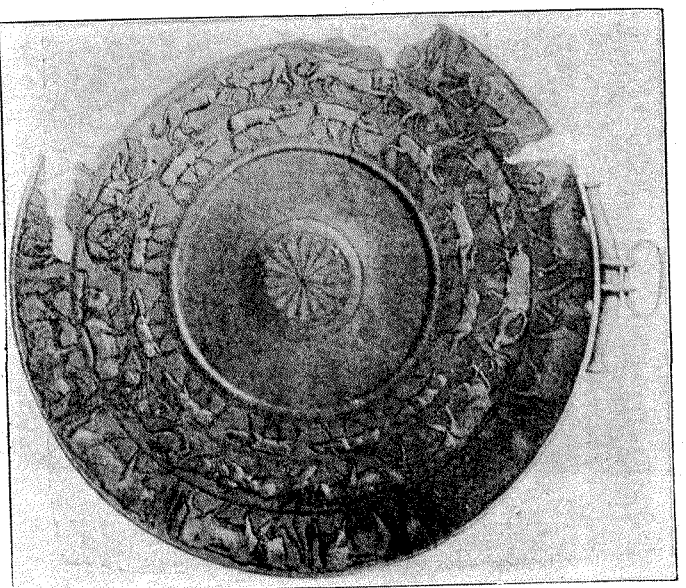
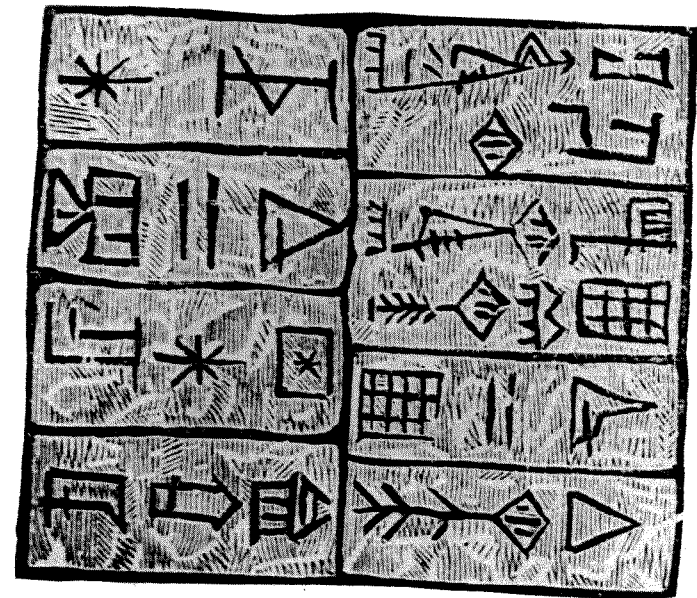
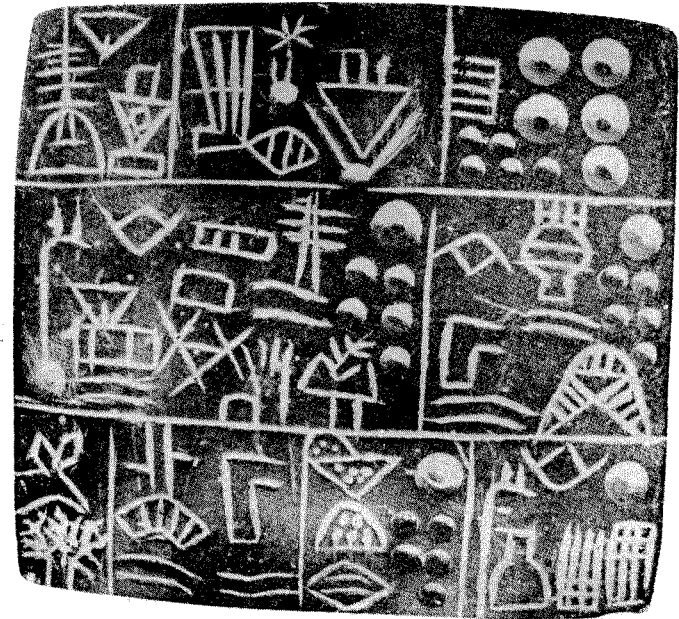


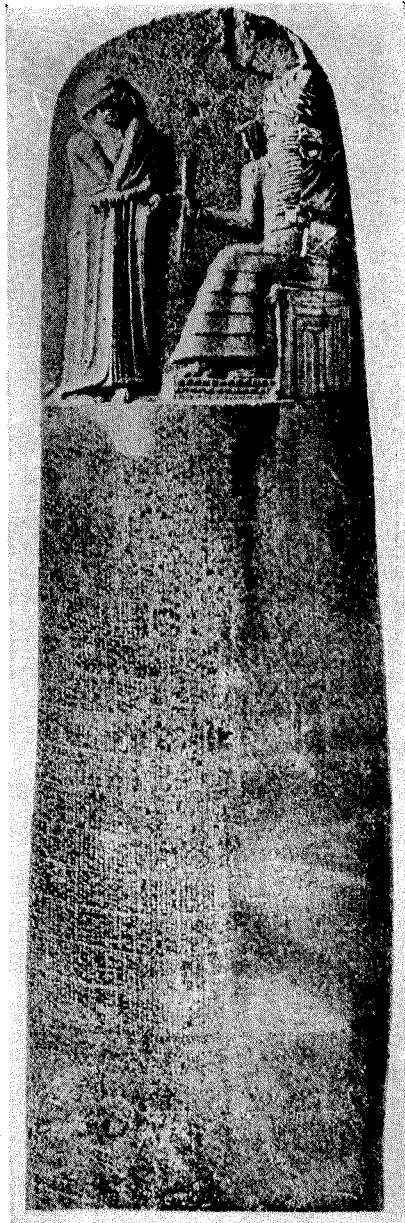
Abb. 71. Stele des Bêl-Harrân-bêl-n-Bur
 (Scheil, Saison de fouill. à Sippar, Pl.I)

第 八 圖



(一) バビロニアの象形文字ホフマン文書(七八千年前) (二) 原始的楔形文字

第 九 圖



ハムラビ大法典の石碑、紀元前二千百二十年バビロン第一王朝の六世ハムラビ大王のバビロンに建設に係る、この石碑は高さ二米突四分一の緑石で、其の上部は日神よりハムラビが法典を授かる像で、下は楔形文字で法文が刻かれてある、後奮取せられたるものをシューシアに於て發見し、現にルーブル博物館に所蔵す。

THE CODE OF HAMMURABI, KING OF BABYLONIA (c. 2123—2081 B. C.)



FIG. 1, HERALDIC DESIGN OF LAGASH

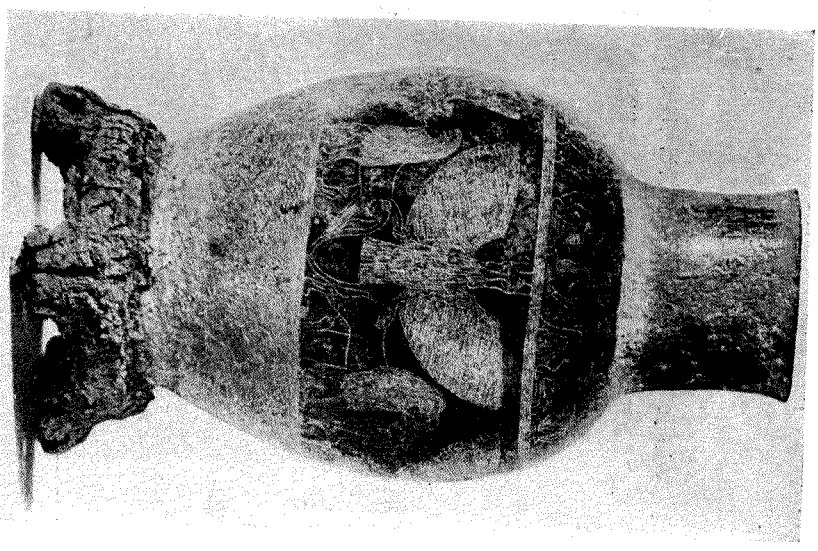


FIG. 1, SILVER VASE OF ENTENNA, RULER OF LAGASH

(一) ラガシ王エンテナのニンギルス神宮へ奉納の銀瓶、其の獅子面を有し、獅子を攫む鷲は同市の標章で、紀元前三千年の製作に係り世界工芸美術史上無比の優品と稱せらる。 (二) ラガシ王國の標章等の繪馬額

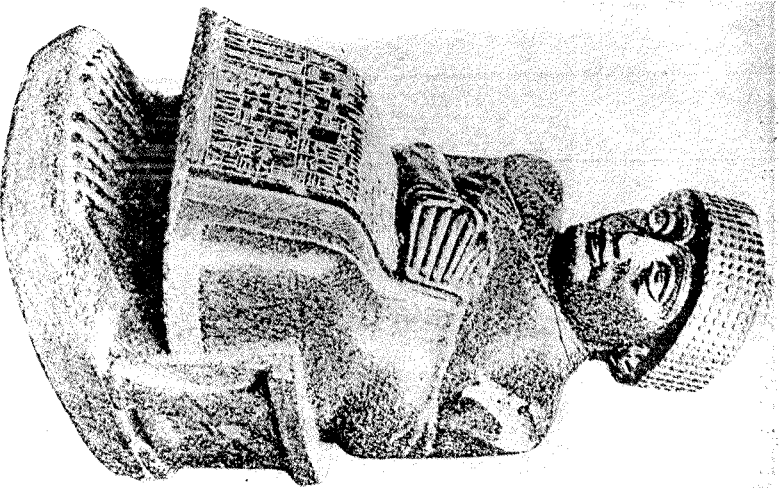


FIG. 1, DIORITE STATUE OF GUDEA (c. 2450 B.C.)



FIG. 1, UR-NINĀ, KING OF LAGASH (c. 3000 B.C.), AND HIS FAMILY

(一) ラカシ王ウルニナの繪馬、王の頭へ籠を載せたるはニンギルス神宮造營に勞働する模倣、 (二) 同王グデアの石像

圖三十第

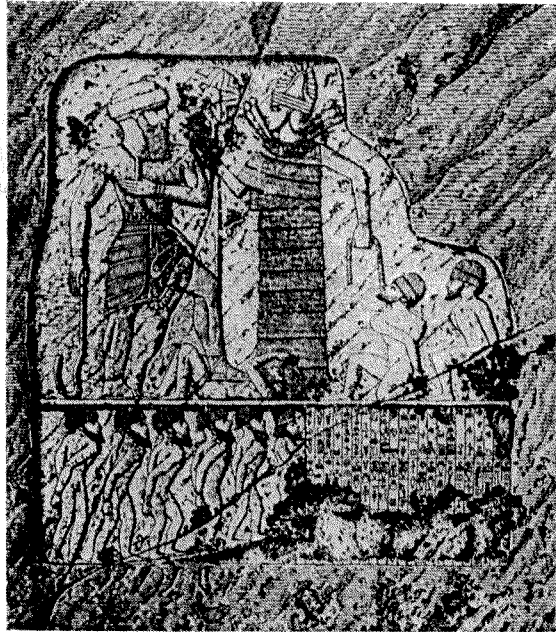


FIG. 2, ISHTAR AS THE GODDESS OF WAR

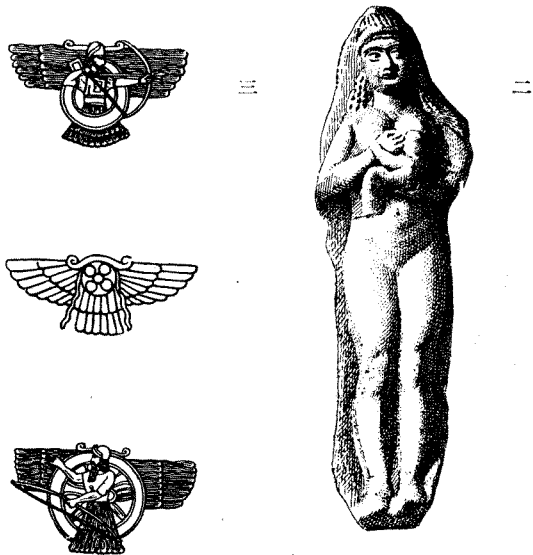


Fig. 2. Ishtar, the Mother-goddess

- (一) イスタル女神の弓に神紋を表す、アッカド市の神宮では武神とし、後世此の神を金星に配す。
- (二) イスタル女神のモデル、スメリアのエレク市の神宮では愛の母神とす、聖母マリアの原型である。
- (三) アッシリアの主神アシュラ

圖二十第



- (一) スメル王のタイプ、ラガシ市發掘

- (二) セミット人のタイプ、アダブ市發掘



圖 五 十 第

- (一) バビロニアの境界標石、日像等の神紋、供物、神使の鳥の類及び神の守護を記す
- (二) 同上、星月日像の神紋、守護神の像及神の守護を記す



Abb. 70. Grenzstein des Nazimaruttase (Délég. en Perse I, Pl. 14.)



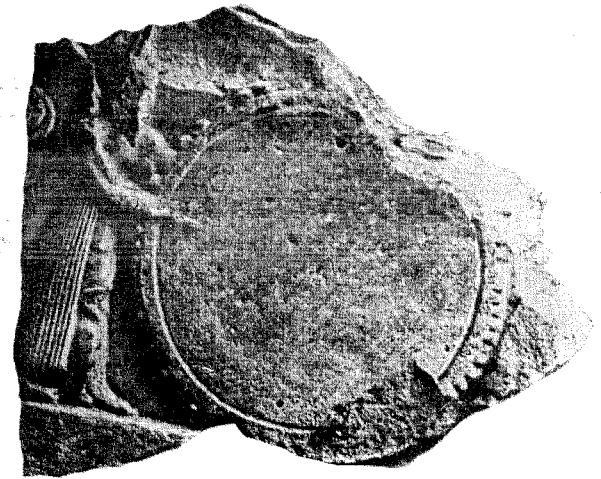
FIG. 1. BABYLONIAN BOUNDARY STONE

圖 四 十 第

- (一) アッシリアの神巫の神樂と樂器
- (二) 同上

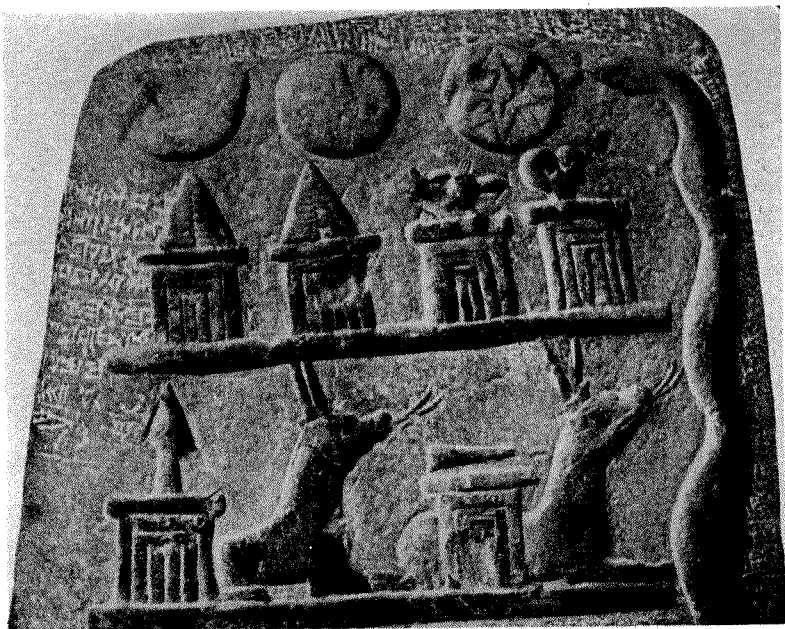


Abb. 182. Pauke und Paukensschläger.
(Rev. d'Assyr. IX, Pl II.)



バビロニアの境界標石、神紋、供物、神使の鳥、守護神の像及び神の守護を記す

圖六十第



FIGS. 1 AND 2, SYMBOLS OF THE GODS ON BABYLONIAN BOUNDARY STONES

圖七十第

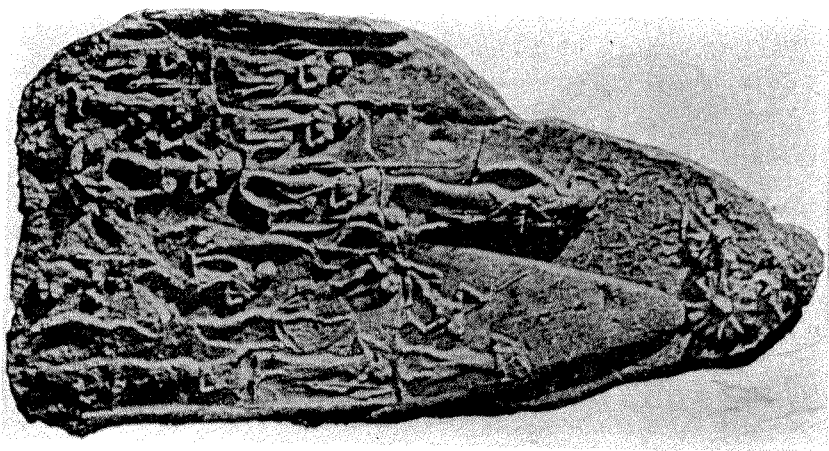


FIG. 1, STELE OF NARAM-SIN, KING OF AGADE (c. 2550 B. C.)

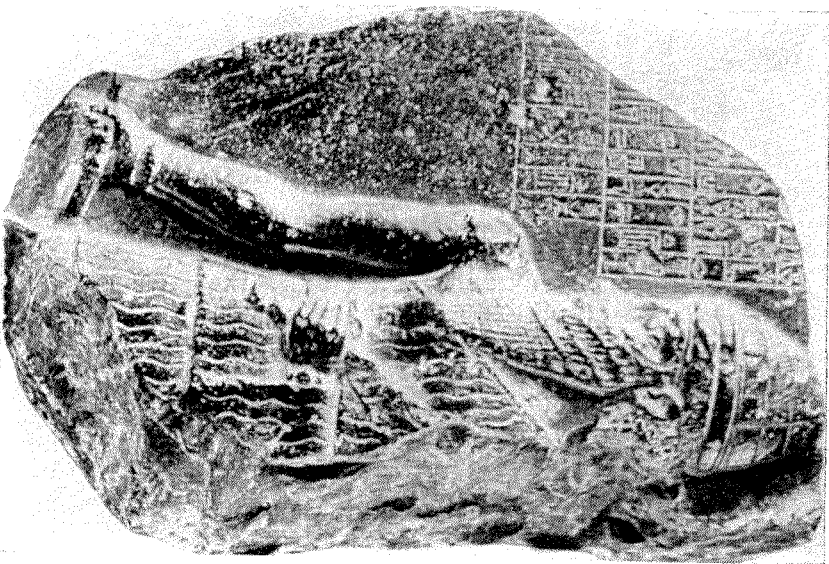
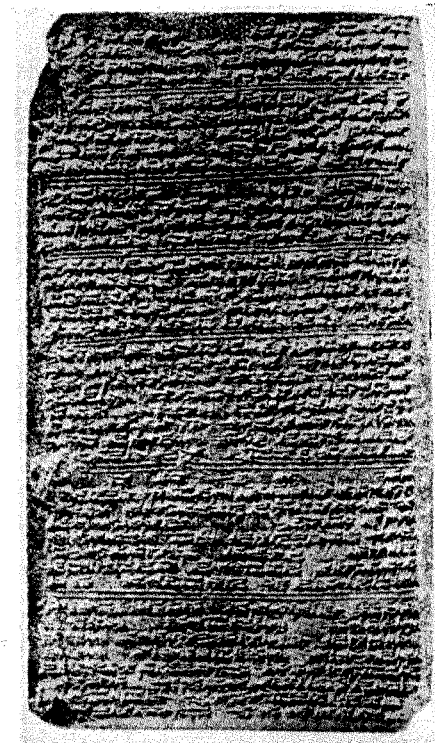


FIG. 2, BAS-RELIEF OF NARAM-SIN, KING OF AGADE

(一) テツカド王ナラムシン武装の國、東洋の國に酷似す

(二) 同ナラムシン敵人征伐圖、上部旭日の紋は菊花紋の原型である

圖八十第



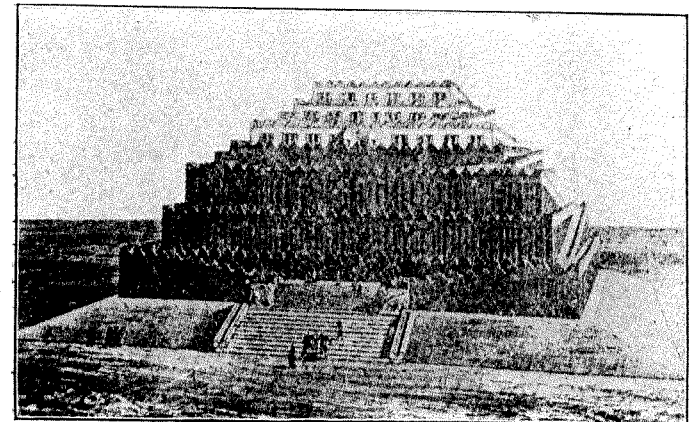
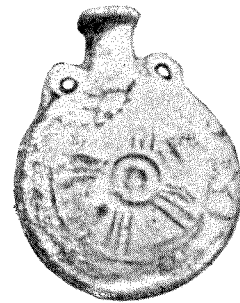
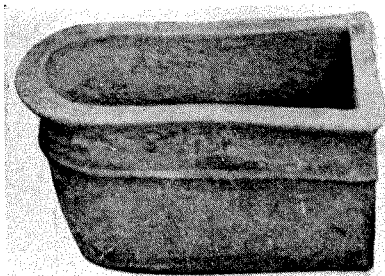
(一) アマルナ瓦札、古エジプト第十八王朝の王アメンホテプ四世（紀元前十五世紀）の都趾エル、エル、アマルナより發見せられたるアマルナ瓦札三百二十枚の一、 (二) バベルの塔

圖九十第



FIG. 1, SPECIMENS OF BABYLONIAN POTTERY (TELLOH)

(一) テロー（ラガシ市）出土の土器、 (二) バビロン市出土の土器、東洋のそれに酷似す (三) バビロニアの瓶棺、

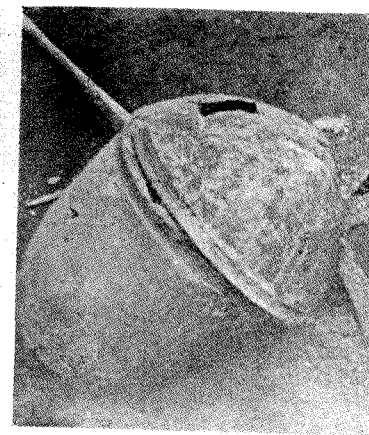


圖一十二第

發掘前のバビロン古跡、山の如きは建築物の崩壊して埋没せる市街

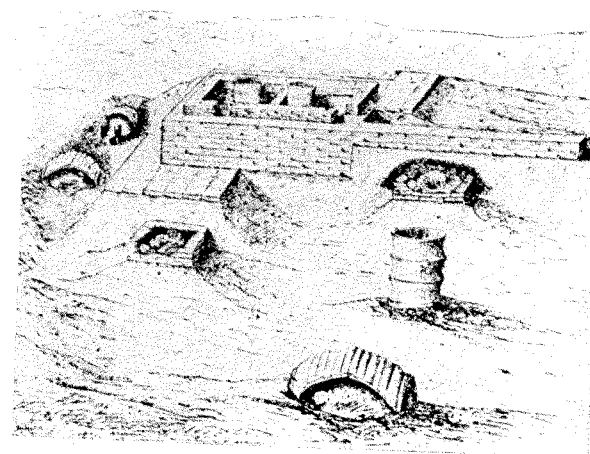


圖十二第



(一) バビロン發見の瓶棺
約紀元前二千五百年

(二) 同市發見の石棺

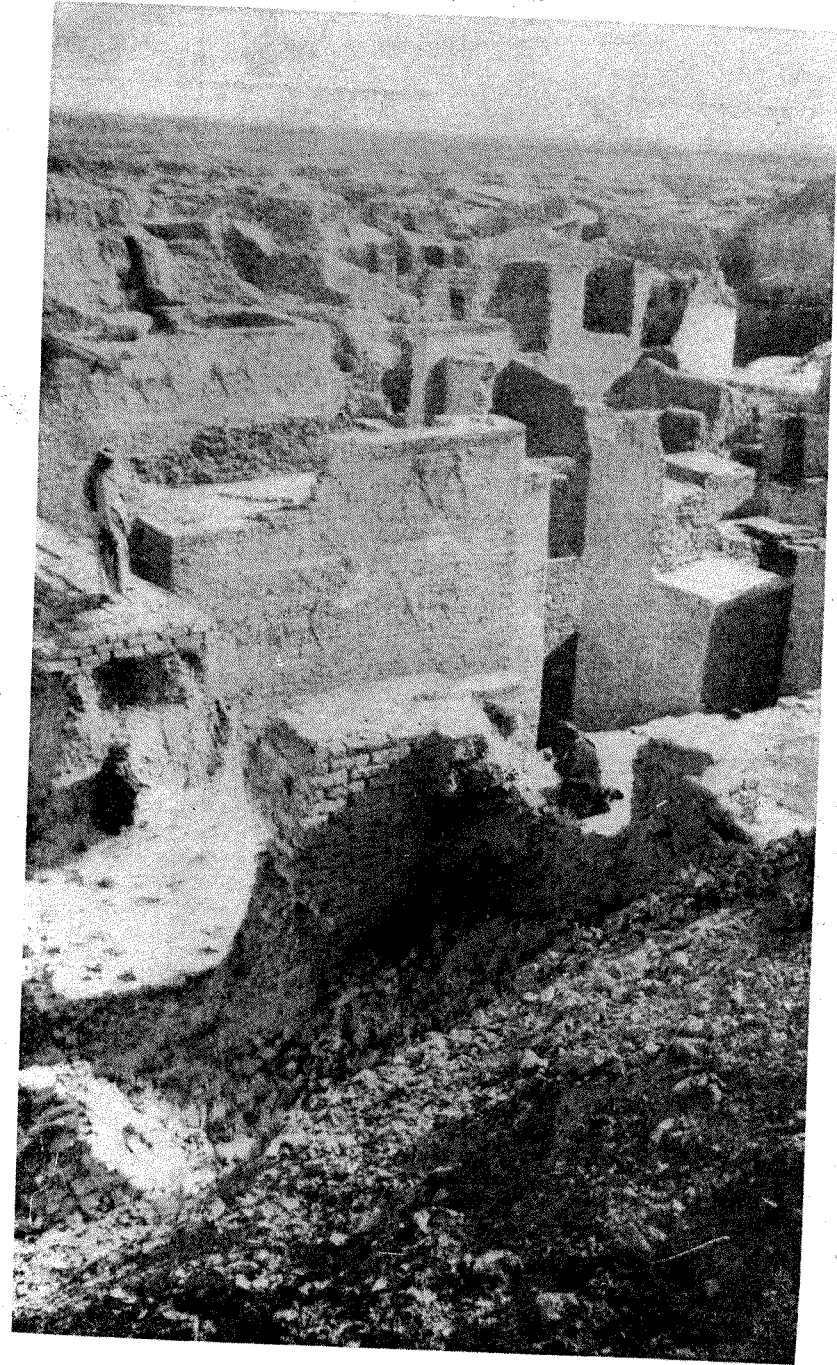


(三) テローの埋没より發見の墳墓櫛は煉瓦にて造る、

FIG. 2, NECROPOLIS AT TELLOH

圖二十二第

發掘中のバビロン市街及びネブカドネザル王宮殿の古趾



圖源

